

【資料１】

平成２９年度 佐賀市立久保小学校 学校評価結果

1 学校教育目標
元氣あふれる学校 ～夢をもち進んで学ぶ、心やさしい子どもの育成～

2 学校経営ビジョン
(めざす児童像) 「夢をもち進んで学ぶ、心やさしい子」 「知」 ○かしこい子 ・意欲を持って学習に取り組み、確かな学力を身につけた子 ・自分の考えを表現し、互いに学びあう子 ・家庭学習や読書の習慣が身についている子 「徳」 ○やさしい子 ・思いやりの心を持ち、友だちとなかよく活動する子 ・よいことを進んでする子 ・きまりやマナーを守る子 「体」「耐」 ○たくましい子 ・めあてをもって最後までがんばる子 ・進んで元気に気持ちよいあいさつができる子 ・進んで健康で安全な生活を実践できる子 (めざす学校像) 「活気あふれる学校」 ・子どもの学ぶ意欲を高め、学力の向上をめざす学校 ・子どものよさや頑張りを称賛し、自己肯定感を高める学校 ・地域に開かれ、ふるさとを誇に思う子どもを育てる学校 (めざす教師像) 「学び続ける教師」 ・子どもと誠実に向き合う、温かい教師 ・情熱と使命感を持ち、学び続ける教師 ・チームでの役割を自覚し、協働する教師

3 本年度の重点目標	4 前年度の成果と課題
1 雄飛学園教育を推進する。 ・開発的生徒指導（出番・役割・承認）を推進する。 ・幼保小連携や９年間を見通した小中連携を推進する。 2 学力向上を図る。 ・「雄飛学園メソッド」による９年間を見通した学習習慣の定着を図る。 ・国語科の授業実践を通した校内研究の充実を図り、指導法の改善を図る。 ・読書活動推進の方策を工夫し、読書に親しむ児童を育成する。 ・いじめと人権教育を推進する。 ・自分を大切に、友達を大切にする子どもの育成を図る。 ・一人一人の子どもの理解と心の教育を充実させる。 ・支援を要する子どもへの校内体制を充実させる。 3 いちの「あ」（あいさつ・あんぜん・ありがとう）の推進。 4 ３つの「あ」（あいさつ・あんぜん・ありがとう）の推進。 5 子どもへのまなざし運動と市民性を育む教育を推進する。 ・活動や行事の中で子どもの出番を広げていく。	・雄飛学園として長年継続しているものでも、小学校・中学校の特性や児童の発達段階に合わせた手立てをさらに工夫する必要がある。 ・ここ数年継続して重点的に取り組んできた「学力向上」「読書活動の充実」「特別支援教育の推進」では領域ごとに成果と課題に差が出てきている。「学力向上」では、「学び方」や「学習意欲」として一定の成果を見るようになったが、思考力、表現力の面では課題が残った。 ・児童は、心やさしく穏やかである。「生命尊重」「人権尊重」の教育をより推進する必要がある。 ・交通安全に対する意識は高まっているが、防災意識、危険回避力を高めるようにする。 ・地域との関係は密接で良好である。地域行事・学校行事の調和をとってこのまま交流を推進する。

5 総括表

① 学力向上を図る

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	達成度	成果と課題（左記の理由）	具体的な改善策・向上策
教育活動	●学力の向上 1	学力向上と学習習慣の定着	・児童一人ひとりが主体的に考えを表現し合い、学び合う小集団の中で思考をつなぎ、学力向上を図る方策を探る。 ・国語科で、市販テストの３分の１の単元で全員７０点以上を目指す。	・国語科を中心に、学習における見通しをもたせ、根拠を明確にしなが自分の考えを表現する力の育成について校内研究を進め、互いの実践を交流する。 ・スキル習得のため、のびるタイムを充実させる。 ・雄飛メソッドを推進させる。 ・ノート指導を徹底する。	B	・主体的な学習の定着にはまだ不十分であった。 ・実践交流は、時期によって差があり、より継続的に行う必要がある。 ・児童の意見交流場面は、活発になってきている。また、板書の統一と工夫によってノートの取り方が充実してきた。	・市販テストの３分の１で全員７０点以上を引き続き目標として、類題を多く解かせる。 ・学習状況調査で国語は、県の平均を上回るように過去問題に取り組む。
教育活動	●学力の向上 2	読書活動の充実	・個人の貸し出し数を低学年１２０冊、中学年１００冊、高学年８０冊以上で、８０％達成を目指す。また、家で読書をする習慣をつける。 ・「図書館活用のてびき」「読書ノート」を活用し、親書の態度を身につける。	・読書活動を活性化させるイベントや企画、各教科との関連図書とのタイアップ活動を行う。 ・家庭と連携（まなざしカードや家庭学習）して、土・日の宿題に読書を入れる。 ・週末の読書実施について調査し、実態を児童・保護者に広報する。 ・週に１回以上図書館に行く時間を設定する。	B	・貸し出し冊数には個人差があったものの、ほぼ達成することができた。 ・週末の読書調べを行い、給食時間に放送で全校に知らせ、啓発が行き届いた。	・図書館まつりでのイベントを工夫し、イベント期間中に多くの児童が図書館に足を運ぶようにする。 ・週末読書調べの結果を図書館でよりなどで定期的に保護者に伝える。
	◎教育の質の向上に向けたＩＣＴ利活用教育の実施	ＩＣＴを手段とした「わかる授業」の充実	・日常的にＩＣＴ機器を活用した授業を展開し、授業がよく分かるという児童の割合、８０％以上を目指す。 ・教員のＩＣＴ利活用指導力の向上を図るために、校内研究と連携して職員研修を実施する。	・講師を招聘し、効果的なＩＣＴ利活用について職員研修会を行う。 ・ＩＣＴ支援員と連携し、授業に役立つ実践的なＩＣＴの活用について研修を行う。	B	・タブレット端末の効果的な活用法について研修を行なった。 ・国語科を中心に書画カメラ等の活用に力を入れて取り組んだ。 ・ＩＣＴを活用することで、授業の理解については、８割以上の児童がよく分かったと答えている。	・職員の活用状況グラフを職員に回覧し、活用意識の高揚を図る。 ・まだ活用できていないツール等の紹介をＩＣＴ支援員と協力しミニ研修会等を行う。

② 雄飛学園の教育を推進する

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	達成度	成果と課題（左記の理由）	具体的な改善策・向上策
学校運営	○小中連携	雄飛学園構想に基づいた小中連携教育の推進	・「確かな学び部」「すこやかな育ち部」「豊かな心部」の３部会毎に合同の研修会や授業研究会を定期的に開催し、職員の学校経営参画意識を高める。 ・連携校の「授業研究会」にそれぞれ１回以上参加し、連携教育の理念の共有意識を高める。	・雄飛学園メソッドに基づいて、学習習慣、規範意識の定着に向けて共通した取組を推進する。 ・学力向上、生活指導、教育相談、特別支援教育、人権・同和教育の各部会で、三校で情報交換をしたり、合同研修会をもつたりする。	B	・雄飛学園メソッドを家庭に配布し、小中一貫した学習規律や規範意識の確立を周知した。また、まなざしカードを年３回時期を合わせて実施し、家庭の協力も深まった。 ・３部会で共通したテーマや内容で取り組み、児童の実態に即した具体的な手立てを取る事ができた。	・金立小と春の遠足、５年宿泊学習、６年長崎修学旅行等を日程を合わせて実施する。 ・各学校の独自の取り組みを部会等で紹介し合い、良い取り組みの実践交流をする。

③ 命と人権・同和教育を推進する							
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	達成度	成果と課題（左記の理由）	具体的な改善策・向上策
教育活動	●健康・体づくり	基本的な生活習慣の確立 体力の保持増進	・こまめに手を洗う習慣、ハンカチを身につけさせるなど衛生習慣を定着させる。 ・はやね・早起き・朝ごはんの習慣化を図る。	・こまめに手を洗う習慣を身につけさせるために、強化週間を設ける。 ・まなざしカードを使って、実態を把握する。リズムある生活を身につけさせるために、週の初めに学級指導を行う。	B	・低学年を中心に手洗い習慣とハンカチ携帯は、定着に向かっていているが全校的には今一步である。 ・健康的な生活のリズムは、できている。	・手洗い習慣とハンカチ携帯を学年での重点指導項目に入れ、週始めにチェックして指導を強化する。
	●いじめ問題への対応	人権教育の充実	・いじめや問題行動に対して組織で対応できる体制作りをする。	・マイペースマラソン、なわ跳び運動を全校的に実施する期間を設ける。 ・自分の体について知る期間「健康フェスタ」実施する。 ・年間3回以上職員研修を持つ。 ・月1回全校で参加体験型の人権教室を開く。また、人権週間に12月に設定して人権学習を行う。 ・月に1回「生徒指導連絡会」を開き、情報交換をする。 ・いじめアンケートの結果を職員で共通理解しながら指導に生かす。	A	・具体的方策は、いずれも実施できた。 ・休み時間に中庭で共遊して遊ぶ児童が多い。	・大縄大会の練習期間を長く取る。
	●いじめ問題への対応	人権教育の充実	・職員研修を充実させ、「いじめのない学校を創る」という意識を高める。	・月1回全校で参加体験型の人権教室を開く。また、人権週間に12月に設定して人権学習を行う。 ・月に1回「生徒指導連絡会」を開き、情報交換をする。 ・いじめアンケートの結果を職員で共通理解しながら指導に生かす。	B	・年間3回以上職員研修をもつことができた。 ・月1回全校で参加体験型の人権教室を開いた。 ・月に1回「生徒指導連絡会」を開き、情報交換をした。 ・いじめアンケートの結果を職員で共通理解しながら指導に生かした。	・人権集会の後は各学級で振り返りの時間を引き続き確保する。 ・気になる児童を共通理解する場を確実に確保する。 ・いじめアンケートの実施・情報交換は、今年度の取り組みを継続させていきたい。
	●心の教育	教育相談・特別支援教育の充実 (支援体制強化)	・教育相談・特別支援対象児童の共通理解と支援体制強化を図り、個性や多様性を尊重する風土を創る。	・交流学級や特別支援学級間の連携を密に行う。 ・発達障害についての理解を深める研修を行う。 ・支援会議を計画的に開催する。 ・保護者向けの研修会を開催する。	B	・学級間の交流、支援会議、研修会は計画通り実施できた。 ・保護者向けの研修会が開催できなかった。	・保護者向けの研修会開催を年間計画に位置づけ実施する。
④ 子どもへのまなざし運動と市民性を育む教育を推進する							
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	達成度	成果と課題（左記の理由）	具体的な改善策・向上策
教育活動	○特別活動1	児童会活動の充実	・代表委員会が決めたことについて、一人一人が番番・役割を意識しながら意欲的に取り組むませ、達成感を育てる。	・代表委員会できまことを運営委員が中心となって全校児童が活動しやすいように伝える。 ・一人役の番番や役割を持たせ、承認カードを活用して頑張ったことを承認する。	A	・たてわり班でのあいさつ運動や集会の準備など、児童が役割を担って活動に参加することができた。 ・学校行事や授業参観の際に保護者や地域の方に承認カード記入の呼びかけを行い、児童の頑張りを認めた励ましたりすることができた。	・児童の思いやアイデアを生かし、児童会活動を充実させていく。 ・回収する承認カードが少ないため、取り組みの周知に努める。
	○特別活動2	環境教育の充実 (環境ISO)	・90%以上の子どもが環境を守る行動をすることができるようにする。	・環境委員会が中心となって、各学年の毎週の取組状況を伝える。 ・学校での取り組みの様子を地域・家庭に機会ある毎に発信する。	A	・児童対象の学校評価で9割以上の児童ができた評価している。 ・佐賀市環境部より学校ISOの取り組みで最優秀校として表彰を受けた。	・学校ISOの取り組みが委員会中心の取り組みから学校全体に広がるよう、企画運営を見直し改善する。
	○地域連携	まなざし運動と市民性を育む教育の充実	・地域のまなざし運動と連携し、市民性を育む教育を推進することによって、市民の一員としての意識の向上をめざす。	・地域の行事には、積極的に参加するようにさせ、行事の意義を指導したり、参加後に称賛したりする。 ・生活科・総合的な学習の時間では、まなざし運動を展開する地域の人・団体と年に2回以上は連携する。	A	・学校評価で保護者・児童・職員共に高い評価になっている。 ・地域から「子どもの参加姿勢がとても良い」と感想をもらうことが多い。	・このまま、引き続き地域との連携を深めていく。
本年度の重点目標に含まれない共通評価項目							
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	達成度	成果と課題（左記の理由）	具体的な改善策・向上策
学校運営	○学校経営方針の周知	本年度の学校教育目標・経営ビジョン・重点目標の周知徹底	・保護者、児童、教職員、学校評議員、地域の方々に周知徹底し、認知度95%以上をめざす。	・学校教育目標を校内、各教室に掲示をし意識を高める。 ・保護者・地域の方には、学校パンフレット、学校便り、ホームページ、PTA総会、学校評価アンケート、学校評価ダイジェスト版等で周知する。 ・教職員には、職員会議や三部会等での活動を通して共通理解を図る。 ・学校評議員の方へは、評議員会、学校便り、学校関係者評価のための資料提供等で周知する。	A	・具体的方策は、実施できた。その結果、学校評価での結果も高評価であった。 ・学校評議員会で、好意的な評価・意見を得た。 ・学校便りで児童や教育活動の様子を丁寧に発信できた。	・各部会や担当者から取り組み状況を知らせる便りを配布する等、広報を充実させていく。
教育活動	○危機管理体制の整備	危機管理体制の確立と実効的な運用	・交通事故0をめざす。 ・状況に応じて危機管理マニュアルの見直しを行い、予告なしの避難訓練もあわせて実施する。	・交通安全に向けて、自転車使用時のヘルメット着用率100%を継続する。 ・地震災害の避難マニュアルを点検し、避難訓練に生かす。3学期に予告なしの避難訓練を行う。 ・黄色い帽子と防犯ブザーの携行を一斉下校時にチェックし、全学級で指導する。	B	・ヘルメット着用はほぼ完全に定着している。 ・予告なし避難訓練が実施できなかった。 ・防犯ブザーを携行していない児童がこたえる傾向がある。	・これまで全校下校時に行っていた防犯ブザー等の携帯チェックを学級指導として行う。 ・予告なしの避難訓練を実施するよう年間計画に入れる。

●は必須項目、◎は特定課題、○は独自評価項目